

平成 25 年度第二回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 25 年 8 月 9 日（金） 午後 2 時～午後 4 時 45 分	
開催場所	魚津市役所 4 階第一委員会室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】 中村和之、慶野達二、青山芳枝、岩井哲雄、岡本安克、吉田讓、若林忠嗣</p> <p>【事務局】 沖本企画総務部長、武田総務課長、内海財政課長、宮崎財政課長代理、赤坂総務課行政改革係長、広田総務課主任</p>	
欠席者	浅野朱実委員	
開催形態	公開（傍聴者 2 名）	
議 題	<p>○議事</p> <p>1 魚津市行政改革集中プランの進捗状況の確認について</p> <p>2 施設の方向性について</p> <p style="padding-left: 40px;">A：市庁舎等      G：市営住宅・公園等      H：その他</p> <p>3 その他</p>	
14:07	事務局	<p>皆さんご苦勞様でございます。時間が若干過ぎておりますので、2 名の委員さんが今こちらに向かっておられますが、ただいまから第 8 回の魚津市行政改革推進委員会をはじめたいと思います。</p> <p>事務局より事務連絡をさせていただきたいと思います。本日机の上にお配りしました資料でございます。事前に魚津市行政改革集中プランに掲げる取り組みの進捗状況一覧表というものをお配りしておったところでございますが、内容に若干不備がございましたので、本日お配りした資料と差し替えのほうをよろしくお願ひしたいと思います。先にお配りしていた資料については、お帰りの際はそのまま机の上に置いておいていただければというふうに思います。</p> <p>それと 2 点目でございますが、封筒に入っている資料でございます。今回の会議で使用する施設分の検討シートと、前回の委員会の会議録が同封されております。会議録については後日ご確認いただきたいというふうに思っております。今回の委員会につきましては老人・障害者福祉施設と、社会教育・文化施設、それとスポーツ施設の 3 つの分野についてご検討を予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>最後に本日の予定でございますが、まず私どものほうから魚津市行政改革集中プランについて、進捗状況の確認を行った後に、公共施設の在り方検討についてご検討いただきたいというふうに思っております。本日の会議は 16 時 30 分ごろを終了予定としておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。</p> <p>それではこの後の進行を会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
	会長	<p>本日はご苦勞様でございます。一回目の委員会が、ちょうど去年の今日でございました。ちょうど一年がたちました。これから山場になってくるのではないかなと思っておりますが、皆様におかれましては引き続き、活発なご意見をお願いしたいというふうに思っています。</p> <p>それでは次第に沿って議事を進めさせていただきたいと思っております。議題</p>

事務局	<p>の1でございますが、魚津市行政改革集中プランの進捗状況の確認について、でございます。事務局のほうからご説明願います。</p> <p>それでは私のほうから説明させていただきます。座って失礼いたします。</p> <p>集中プランに掲げる取り組みの進捗状況一覧表ということで、一年前のこの日も一昨年の行革の取り組みについてご確認いただいておりますが、今回も昨年度の行革に取り組んだ集中プランに掲げた取り組みを、またご確認のほうをお願いしたいと思います。それではお手元の資料No.1のほうから見ていただきたいと思います。</p> <p>集中プランについてはお手元の取りまとめた一覧表に基づいて説明をさせていただきますと思います。集中プランについては平成 22 年度から 26 年度まで 5 年間を実施期間として策定されておまして、7つの重点項目と 20 の細目、そして 45 のプラン項目に分けてその進捗状況を管理しておるところでございます。なおプラン項目につきましては、昨年度ご説明した際には 46 項目ということでお話ししておったかと思いますが、平成 26 年 3 月 31 日から、富山県東部消防組合に置いて消防事務が開始されたことに伴いまして、No.45、一番最後のプラン項目のほうを削除させていただきましたので、今年度は全部で 45 項目というふうにさせてもらっております。</p> <p>各プランにおきましては基本的に毎年度の数値目標を設定しまして、実績値がどれくらい各年度の目標値をクリアしているかということで、その進捗率を測っておりますが、中には適切な指標が存在しないといった理由から数値目標を設定していないプランもございます。そういったプランにつきましては具体的な取組実績などを踏まえまして進捗状況を把握しているところでございます。なお 6 月 28 日に魚津市行政改革推進協議会、内部の委員で構成される協議会ですが、そちらのほうを開催しまして各プランの進捗状況を事前に点検したところ、いくつかの具体的な指示事項などが出たプランもございまして、そちらについては一覧表の一番右欄に記載してございます。</p> <p>集中プランの全体的な動きに入りますが、お渡ししております資料の 5 / 5 ですか、5 ページ目のほうをごらんいただきたいのですが、一番下のほうに構成比のほうを載せております。23 年度と 24 年度の実績を載せてございますが、それぞれの各件数を比較いたしますと、A の順調が 2 件増加、B の概ね順調が 5 件増加しており、一方では C の遅延については 8 件減少いたしました。なお D の未実施については昨年を引き続き 0 件ということになっております。</p> <p>23 年度に比べまして進捗状況が改善されたプラン項目は全部で 12 件ございまして、その内訳としましては、B から A への改善が 1 件、C から A への改善が 3 件、C から B への改善が 8 件でございました。一方で進捗状況が悪化した項目については全部で 5 件ございまして、その内訳としましては A から B が 2 件、B から C への悪化が 3 件でございました。また構成比のほうをご覧いただきますと、24 年度では A B 併せて 66.7% とちょうど 2 / 3 となっております、2 / 3 のプラン項目が 80% 以上の進捗であるということがいえるかと思います。</p> <p>以上から着実にプラン項目について目標達成に向けて行革が進んできているものと思っておりますが、今後も引き続き各プランの課題などを洗い出しいたしまして整理していくと同時に、担当課に指導などをしながらさらに行革のほうを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお魚津市行政改革集中プランにつきましては来年度、平成 26 年度が</p>
-----	---

14:20	会長	<p>最終年度の5年目ということで、来年度中にはおそらく、また新たに集中プランのほうを策定の上、27年度に向けてこの委員会においてまた中身のほうを協議いただきたいというふうに考えておりますので、その際にはまたよろしくお願ひしたいというふうに思っております。集中プランの進捗状況については以上になります。</p>
	A委員	<p>はい、ありがとうございました。ただいま事務局のほうから魚津市行政改革集中プランの進捗状況についてご説明いただきました。この点に関しまして、ご質問、あるいはご意見等ございましたら、どんなことでも結構でございます。何かございますでしょうか。</p>
	事務局	<p>表1の17番に、2公社として施設管理公社それから開発公社について解散を含めた方向性の決定と、新体制への準備等のタイムスケジュールを協議しますと、そういうふうに書いてありますけど、この2法人の財務内容って言うのは何か見るものはあるんでしょうか。</p>
	A委員	<p>公表しているものがあるかということでしょうか。</p>
	事務局	<p>はい。</p>
	A委員	<p>そうですね、会計資料の貸借対照表だとか、そういったものはお出しはしております。</p>
	事務局	<p>公表されているんですか。</p>
	A委員	<p>公表していると思っております。</p>
	事務局	<p>何を見ればよろしいんですか。</p>
	A委員	<p>議会に議案として提出しています。あと、ホームページに載せていたかどうかは確認しておりません。</p>
	事務局	<p>要するに解散を含めたということは、かなり内容が悪いということの意味しているんですか。</p>
	A委員	<p>解散を含めたというのは、ここに書いてあります開発公社を指しておりますが、実は、開発公社はすでに解散しています。いわゆる土地開発公社関係、これは全国的なものなんですが、魚津市の場合は23年度で解散手続きをしたということで、このときはその目標としてこういう文言を入れておまして、この開発公社を指して解散を含めた方向性云々という表現ということでもあります。</p> <p>あと、施設管理公社については、いわゆる公益法人の改革によって公益とはなりませんので、一般財団法人施設管理公社ということで、これは今年の4月から新たな体制になってこれは経営をしているという状況です。</p>
	事務局	<p>公益財団法人にはならなかったということですね      そうですね、公益性はやはり認められなかったということです。      (岡本・吉田委員到着)</p>
	会長	<p>ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>私のほうから一つお聞きしたいんですけども、Cの遅延というものに何か共通するような要因というものはあるんですか。</p>
事務局	<p>共通要因という見方で正直検証してはおりません。</p>	
会長	<p>じゃあ結構です。もしも何かそういったものがあるのであれば、そこを重点的におさえていかないといけないと思いましたが。</p> <p>それでは、他にご意見がなければ引き続き行政改革集中プランについては着実な実施に向かっていただくということをお願いいたします。</p> <p>それでは次の議事に進みたいと思います。これがどちらかといいますと本日の重点課題になるかと思えます。公共施設のあり方検討という各施設の方向性についてでございます。本日は前から使っております分類で言い</p>	

	<p>事務局</p> <p>会長 事務局 会長 事務局</p>	<p>ますとAの市庁舎等、Gの市営住宅・公園、それからHのその他というところについてご議論させていただきたいというふうに思います。</p> <p>どうしますか、一通り全部説明されますか。事務局のほうから。</p> <p>事前にお配りしていることもございますので、分野ごとにすぐに質疑応答のほうに入っていただきたいなと思います。</p> <p>それでは、まずAの市庁舎等について説明いただいてもいいですか。</p> <p>簡単に進め方だけ説明させてもらってよろしいですか。</p> <p>はい、お願いします。</p> <p>それでは、これまでの委員会におきまして各施設の現状や課題についてご議論いただいていたわけですが、今後各施設の方向性についてお手元の検討シートに基づいて議論を進めていただきたいというふうに考えております。本日の会議を含めまして、今後3回の委員会の中で全施設159施設ございますが、すべての施設の方向性、方針などを決めていきたいと考えております。</p> <p>進め方としましては、事前に公共施設シートもお渡ししておりますので、すぐに質疑応答に入りたいと思っております。委員の皆様からご意見などをいただきながら、そのシートの内容を加除修正のほうをしていきたいと思っております。シートに記載されております3番の各施設の方向性についてでございますが、これまでの委員会での議論を踏まえた内容としているつもりでございますが、短期や中期、長期といったスケジュール的なところについては不確定なところもございますので、そういったところも併せてご確認ご検討いただきたいというふうに思っております。</p> <p>それと5番の施設見直しによる効果についてですが、ここについては各検討シートの上のほうにですね修繕費とか耐震補強工事費といった金額がそれぞれ記載しております。その金額を基に算出しているところでございます。それで修繕費については、いつの時点で供用の廃止をするかといったところが不明確なところもございまして、修繕費がこの65年間毎年同じ金額を積み上げたものですから、そういったところからこの修繕費を除いた金額が施設見直しによる効果としてあげさせてもらっております。</p> <p>それとですね、限られた時間の中で数多くの施設のほうをご確認いただく必要がございますので、いただいたご質問に本日もすぐにご回答できない場合も中にはあるかと思っております。そういった場合については、いったん事務局のほうで預らせていただいて後日書での配布になるのか次回の委員会でのご回答になるのかわかりませんが、できるだけ会議がスムーズに進むようにしたいと考えておりますので、そちらのほうもご理解のほうをお願いしたいと思います。事務局からは以上でございます。</p>
	<p>会長</p>	<p>それでですね、今回含めて3回で全施設の検討を行うというふうな予定でおります。それで個別に見ていった中で最後全体を見渡して再度調整をしてという形で進めさせていただきたいというふうに思います。その検討の判断材料といたしまして、今ほど事務局から説明のあった公共施設検討シートのほうをご活用いただきながら議論を進めてまいりたいというふうに考えております。</p> <p>この公共施設検討シートそのものの見方等について何かご質問ございますでしょうか。またお分かりになりたくければそのつどご質問いただいても結構なんですけども、よろしいですか。</p> <p>それでは、Aという分類の市庁舎というところについて質疑に入りたいというふうに思います。公共施設検討シートで見ますとNo.1からNo.6まで、本庁舎から魚津市学校給食センターまでございます。昨年度出</p>

	B 委員	<p>しました中間報告ではですね、分庁舎機能の本庁舎への集約であるとか、ワンストップサービスの推進であるとか、耐震化に向けた対策が早急に必要だというふうな意見をいただきまして、それを記載しています。市庁舎等につきましてご意見あるいはご質問等ございましたら誰でも結構でございますのでお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>委員会での意見の段階に、本庁舎は災害時における災害対策本部であることから、耐震化に向けた対策を早急に進めていく必要があると思います。先だって塩竈のほうに行ったときに、いろいろな要因があるんですけども、塩竈は早くに復興できた要因の一つに庁舎、本部が災害にあわなかったという、耐震化を先に進めていたおかげであるといった話を聞きましたので、こちらも災害はあるかどうかわかりませんが、それに備えて、ここは早くきちっとされたほうがいいんじゃないかっていう風に思いました。</p>
	会長	<p>ありがとうございます。一応施設の方向性というところで、庁舎等につきまして分庁舎も含めてですけども、短期で取り組んでいくという形が事務局の一つの案でございますが、今のご意見はその方向がかなり緊急を要するというイメージですね。</p>
	B 委員	<p>そうですね。</p>
	会長	<p>その他、ご意見ございますでしょうか。</p>
	C 委員	<p>分からないので質問するんですけども、いわゆる老朽化比率が、例えば 80%、90%を超え、100%になったらどうなるのか、それで耐震化、例えば 80 超えて 90%ぐらいで耐震のための工事をした場合に延びるという考えか足していけばいいのか、寿命の問題、耐震の法律には適合するけども老朽化は変わらないんだよという考え方なのか、そのへんちょっと教えていただきたいんですが。</p>
	会長	<p>耐震化率、老朽化比率の定義も含めまして、少し改めて意思統一させていただければと思うんですけども、事務局のほうで何か言われますか。</p>
	事務局	<p>まず老朽化比率についてですが、これはいわゆる耐用年数というものの一つの基準にして、それに対してどの程度の年数が経過しているかというようにいわゆる大まかな目安になります。どれくらい古いものか新しいものかというあくまで目安になりますので、100 になったからといってそれがもう必ず建替えないと駄目なものかということ、そういうわけでもなく、あくまで目安の数値ということですが、</p> <p>それから耐震化を図ることによって寿命が延びるかということですが、基本的には寿命は延びないということです。耐震性を確保するための耐震化はできるんですけど、それによって例えば 60 年 70 年の寿命の物が 80 年 90 年に延びるかといったら、その寿命のほうは延びないという方向です。ですから仮に市役所なんかもうかなり古くなってますけど、これを今の段階で耐震化をしたとしてもいずれくるであろう寿命というものは変わらず待っていますので、そのタイミングが遅くなればなるほど建て替えと耐震化のタイミングが極めて近づいてしまいますので、そこら辺りが非常に迷いが出るといいますか、近いうちにそろそろ建て替えを考えないといけないのに、ここで数億円という耐震化の事業費を使うということについてどう考えるかということが非常に悩ましいというところだと思います。</p>
	C 委員	<p>富山の県の近代美術館ですか、あれはまだ 30 数年だったかと思うんですけども、でも耐震化が、耐震構造に為されていないもんだから、今造りましよという話がいろいろ話題になってますけど、私らもどう判断で物事を考えればいいのかちょっとわからなかったもんですから質問させ</p>

	D委員	<p>ていただいたんですけども、だいたいわかりました。</p> <p>余計なことなんだけど、近美はそのほかに消火設備の問題があって、ガスの消火設備を持っていないので、他の美術館から作品を貸し出すというところで遠慮されるところが結構あって、ああいう美術館で水を出さないものだから、そうったところが問題だったと思います。</p>
	C委員 事務局	<p>構造的に問題もあるということですね、わかりました。</p> <p>今言ったとおりなんですけど、実はこの庁舎は詳細な耐震診断、そういうものはしておりません。耐震診断をしていないということと、当然老朽度も計測といたしまししょうかそういうのも詳細なものはやっておりません。</p> <p>多分駄目だろうみたいな形で見られているので、それをしたことによって、では何も行動を起こさないのかという逆にそういうこともありますし、今ほどおっしゃったとおり、どこの庁舎も災害が起きた場合は対策本部になると思います。県内ですと、氷見は体育館を利用して庁舎を建設すると、滑川は現在の庁舎を耐震補強していると、黒部・射水は新しく作るということで、ほとんどが耐震化に対応したものに変わっていかれるということですので、やはりそういうものを含めて詳細にそういう耐震調査、これはまずやるべきではないかというふうには思っております。それと庁舎、第一分庁舎、第二分庁舎については、ある意味不経済になっておりますので、それはやっぱり集約したほうがいいのではないかと考えております。</p>
	会長	<p>先ほどの老朽化比率で改めて質問したいんですけど、例えば大規模な改修をしたとしても老朽化比率そのものは代わらないというふうに考えているんですか。</p>
	事務局	<p>根本的に、本体そのものに関わる改修をすれば、本来的にはこの老朽化比率というものは改善されるといいますか、少しこう数値が少なくなるというところではありますが、正直なところ、過去のそういった改修工事、どの程度の改修工事がどの時点でしっかりとされたされてないというのを今から遡って調べるというのが、正直ちょっと難しかった部分もありますので、反映できた部分もあれば、できてない部分もあります。基本的な考え方とすれば、数値は改善されるものだということでもあります。</p>
	会長	<p>何%というのは数字上であるんでということなんではしょうけれども、今後これから庁舎をどうしようかって考えていくときに改修なのか全くの新築なのかというのも一つの選択肢だと思いますのでお聞きしたんですけども。</p>
	E委員 事務局	<p>その耐震化と老朽化を改善するもしくは新築する、そういったコストをかけるという問題は悩ましいところですが、一方その下段にある第一第二を統合するという事は取立てて大きなコストがかかるわけではなく、これを切り離してまずはせつかくの10,300千円の見直し効果が生まれるということですから、まずはこの統合してしまうという方向に進むこともいいんじゃないかなと思います。ただそのときには、現在のここにはそれだけのスペース的なキャパがあるのかと、そうすると今度は事務の効率化、IT化といったまた新しい問題が出てくるんじゃないかなと思います。</p> <p>まずスペースはあるのでしょうか。</p> <p>市の職員がかつて500人ちょっといたわけですが、そのとき本庁舎に約半分の250、外のほうに250おりました。そういう人数から言うと今全体で職員数400なんです。この庁舎の中には200人弱しかいないと、それだけを人員云々だけを見れば、当然入るだろうとは思いますが。ただしOA機器とか、昔と違ったそういうもので結構事務スペースがとられておりますので、いくらかの増改築といたしまししょうかそういうものは必要なのかなと</p>

	<p>E委員</p> <p>会長</p> <p>C委員</p> <p>D委員</p> <p>事務局</p> <p>D委員</p> <p>会長</p> <p>E委員</p>	<p>いうふうな思いはしています。ただし、面積的には市庁舎の中で工夫すれば入るといふふうには思っております。</p> <p>じゃあまずそれを積極的に進めることにすればいいんじゃないかなと思います。</p> <p>施設の方向性の①第一第二分庁舎を本庁舎に統合するというのは、ぜひとも進めないといけないところだというのが、この委員会の共通の認識という形でよろしゅうございますか。その際スペース的な問題、それから改築増築等の問題等もあると思いますので、それは早急に検討を始めていただきたいというふうな形が必要じゃないかなと思います。</p> <p>庁舎を統合することによって第一分庁舎、第二分庁舎の建物や敷地が残りますけど、それを例えば民間に売却するというのをすれば、税収として固定資産税が入ってくると思うんですけど、それによって年間どれだけ入ってくるのか分かりませんが、建物を建てられればもっと倍ぐらい建物の固定資産税も出てきますし、魚津市の一等地にあるわけですからそういったことも税収ということを見ると、統合されたほうが作業の効率化にもなりますし、それを売却するしないはまた判断なんでしょうけども、そういったメリットもあるんじゃないかなと思ったりします。</p> <p>先ほどB委員が言われた塩釜の話ってすごい大事なような気がするんですけども、新庁舎建築がもし進むような形になって何年後かにできるということになる、もしその間に大災害が起きた場合、ここが一番先に駄目になりそうな気がしているんですけど、ここが駄目になったときに、防災計画上災対本部なるものはどこにどうするという事は考えられているんですか。</p> <p>具体的に、庁舎が駄目になった場合はこの施設というような、具体的にここというふうには明示はされていません。消防本部を多分そのときは指定するんだとは思いますが、今のところ明示はされていない状況です。</p> <p>200人の本庁舎におられる職員の方々が、その状態のときに復旧作業に入るという、それから外におられる方との連絡とかいろんなことをやるとなったら消防本部だけでは難しい部分があると思います。そういう状態になると、災害復旧ってすごく厳しい状況になるということだけは間違いない感じですか。</p> <p>今ほどご意見ありましたように、耐震の問題ですね。それとそれから庁舎の統合による行政上のメリットデメリット、二つあるんですね。二つがやはり統合して、庁舎を統合しつつこの耐震性あたりを強化していった庁舎としての機能を高めていくという方向での改革っていうか方向性というふうに思いますので、そのあたりのところいろいろかなりシナリオはあると思うんですね。詳細に検討してみないとわからないところもあるようです。そこは一刻も早く考えていかないといけないんじゃないかなというふうに思いますので、まあ短期ですけども、検討はできるだけすぐにもはじめていただくような形でお願いしたいというふうに思います。</p> <p>いかがでしょうか</p> <p>今その二つを切り離してということで発言しましたけども、もう一度トータルで考えてみるといろんな条件が入ってくるから、それが絡んでなかなか分解処理ができないときの、物事を前に進めるときには先にありきみたいな、とにかく、例えばこの耐震やいろんなことを震災があった場合のためにという、一つのテーマを作ってこれはなんとしてでも変えるんだという、そうなる今度はPPP方式のように民間で建てて公的を使うとか、そのときはそのときのまた新しい方法がでてくるんだろうと思います。</p>
--	---	--

		<p>先日、県知事さんが言っていたのは、富山中央病院のお医者さんの宿舎、これが老朽化してただけでも、民間で建ててそして利用をさせてもらっているということで、これは今非常にうまく、県としてはうまくいっているという、そういう方向って言うのはまた模索する余地はあるんじゃないかなという気はしますよね。だから先になんとしても、何年度までにはこれをやるんだっていう目標設定をしたほうが物事は進めやすいんじゃないかなという気はします。</p>
会長		<p>E委員のお考えというのは、例えば今回の提言の中でも目標設定をしたらいんじゃないかということでしょうか。</p>
E委員		<p>そうですね。得てしてほかのどこからしなきゃいけない、市庁舎なんてのは最後にしたほうが美談に聞こえるんだけど、実際にはそうじゃないですね。誰かが言われたように、ここが崩壊するとほとんど機能がなくなってしまうということからすると、最優先にここを変えるということも一つの理由になるのではないのでしょうか。</p>
会長		<p>いかがでしょうか、かなり差し迫った問題ではないかと思います。それから大きな方針を決めてあるいはここで提言をしてそれでそれに向けての手段を考えていくというふうなご意見だったと思いますけれども、いかがでしょうか。</p>
E委員		<p>例えば何年ぐらいを想定していますか。</p>
事務局		<p>私ども民間だと、3年とか5年だとかっていう目標設定を例えばするんですけども、こういう場合はどうなんですかね、わかりません。</p>
		<p>調査は必要になると思います。どれだけやはり進んでいるのか、概算でもいいですからこれくらい費用をかけないと地震に耐えられないよという、そういう調査はやっぱり必要だと思うんで、万一そういったとんでもないお金をかけるのであればですね、建て替えという方向、そういうのもまた一つ出てくるかもしれませんので、とにかく現状をしっかりと把握するというのが一番必要ではないかなというふうに思っております。</p>
		<p>今日は非常に暑い日なんで、エアコンがなかなか効いていませんが、庁舎のエアコンは平成4年に一斉に替えました。庁舎に77箇所入ってるんですが、20年間経ってますのでなかなか老朽化で効かない状況です。現在設置されているエアコンは、今のオフィスには合わないことから、いろいろと考えていたこともあるんですが、やはりほかの学校の耐震ですとか、ほかのことを優先しなきゃならんということで庁舎が、どちらかといえばだんだんと次年度送りという形になって、現在に至っているというのが、正直現状です。これはなんとしても調査はしたいと思います。</p>
会長		<p>いかがですか、ほかの視点からでも結構でございます。お考えがあればぜひお聞かせいただきたいと思います。</p>
D委員		<p>第一、第二のこの次のページもあわせて考えたほうがいいんじゃないでしょうか。</p>
会長		<p>庁舎のほかには、魚津市消防本部、魚津市健康センター、それから学校給食センターがございます。</p>
D委員		<p>消防は、広域化になったから除外してもいいのではないですか。</p>
事務局		<p>一応組合には移ったんですけど、施設自体は市の持ち物でそれを無償貸与している形になりますので、市の持ち物である分には変わりありませんので、そこをどう維持していくかというのは検討していく必要はあるのかなと思います。</p>
会長		<p>3つの施設については、給食センターについては若干ありますけども、耐震化の必要性っていうのはさしあたりそれほど大きくないっていう判断でいいわけですね。</p>



E 委員 事務局		<p>7年前に作ったものだけど耐震の必要性があるっていうことですか。</p> <p>給食センター本体については新しいので必要ありませんが、それに付随する付属施設みたいなものがちょっと古くなっているというものが、一部あるというような意味で、耐震化の必要ありにしているところです。</p>
会長		<p>それで、これら長期というふうに書いてあるんですけど、できるだけこういったものについての施設マネジメントをきっちりとやっていただくというところは非常に大事だと思いますので、そこはぜひ提言には織り込んでいただきたいというふうに思います。結局それをやらないと、またこういう会を何十年か後にやらないといけないと思いますので。そこは単に施設の重要度だけではなくて当然財政的な制約も出てくるでしょうし、それともあわせてやっていただきたいと思います。それから人数の変化もあるでしょうから、そういったものを合わせて全体として魚津市全体としてのマネジメントというものですね、こういったものについては考えていただきたいと思います。</p>
C 委員		<p>例えばこの給食センターあたりですね、このいわゆる施設もろとも民間へ委託ということは可能ではないことなのでしょうか。ちょっとそこらへんはよくわからないんですけど。</p>
事務局		<p>今現状は、調理業務を全面的に委託しております。メニューとかそういうところは栄養士さんの方で管理しなければいけないので、その部分はこちらのほうで責任を持っているかたちをとっております。</p>
C 委員 事務局		<p>建物も含めてですか。</p> <p>建物の責任はこちらのほうにあります。</p>
C 委員 事務局		<p>それは将来的にはやっぱり、そういう事態になるのが流れだと私は思うんですけど、それをどこまでやるかなんだろうと思います。</p> <p>給食を提供するという部分全部を民間の方に任すというのは、市の責任をどこまで担保するかということが非常に悩ましいところじゃないかと思えます。まあ建物は直せば修理して稼動することはできるんですけど、最終的に子供の口に入るときの責任まではどうしても市の方になっておかないといけないんじゃないかなという気がします。</p>
C 委員 事務局		<p>そういう問題はあるから、どうしても栄養管理とそれに関してはできないということですか。</p> <p>そこをある程度担保できるような、決裁にもかけて民間さんのほうにだすということも考えられないことでもないかと思うんですけど。</p> <p>どこかの市町村でやっているようです。</p>
D 委員 事務局		<p>それは県内ですか。</p> <p>県外で、最近トラブって急に受け入れなくなったという話を聞きました。受託された方ができなくなってしまったということで、はねられてしまったようです。</p> <p>これから学校の統合みたい話も出てくると思うんですが、この給食センターっていうのは昭和 49 年にいわゆるセンター化方式で造りました。</p> <p>それまでは自校方式ということで、それぞれの現場の小学校や中学校で作っていたというものを、一括で給食センターを造って市内の小中学校、幼稚園に給食を配るという方法に変えたのが昭和 49 年です。それで当時は調理する方 20 数人かを採用したということで、調理や配送業務などを市の職員がやっていたのを、民間に委託したということです。だから市の職員は 2 名しかいないんですね。後は県の栄養士が 2 名です。</p> <p>それで保育園は、いわゆる自分たちの園で給食を調理して作って出しているということになってます。今、学校は小学校ですと 12 校ですか、それが仮に何校になった場合、新しい学校ということで自校方式がいいとい</p>

		うことになれば給食センターというのはいらなくなるということになるんですね。これは私ども、給食というのは学校教育の中でどれだけ重要な位置を占めているのかというのはわかりませんが、そのときはそういう議論が出てくるのかなと思っております。
	C委員	中学校も給食ですか。
	事務局	中学校も給食です。
	事務局	県内ですと今ほとんどの中学校は給食です。
	C委員	将来的に小中一貫校みたいな話も別の議論としてある中で、相当児童数も少なくなる、給食センターのあり方も今とは相当イメージが違ってくると思うので、まあ10年20年先の話ではあるものの、施設の話になるとどうしたって耐用年数は何十年の耐用年数の話をしているもんだから、やっぱり10年20年後の話は当然考えていかなければいけないとすれば、今統合だとかそういったことも含めて給食センターに関してはそういったことも踏まえたうえの議論をしないとまずいのかなと思いますね。
	会長	相互に関係し合っているようなところがあるような気がしますし、そこを踏まえないといけませんね。
	E委員	給食センターの建物自体はそんなに古くないし、それだったらもっと古い健康センター、これなんか今、市のほうでは案が出てるんですか。全く白紙状態ですか。
	会長	健康センターとかこれら他の施設の集約化というのは、別に統合するだとかじゃなくて学校と同じような、例えば庁舎の敷地に建てるだとかそういうふうな選択肢っていうのはないんですか。
	事務局	方向として、もともと健康センターってひとつの課の中にあっただけから、昔市役所の中にあっただけですね。ただ、今の健康センターのような訓練室とか色々できる部屋は市役所になかったもんだから、今の健康センターの場所の中になりました。仮に先ほど検討してもらった市の庁舎の建て替えというときに、仮にその中に健康センター機能を横に持たせて、そこにその健康診断に来られる人とか、お年寄りの人とかを受け入れるスペースをセットで考えて造ろうというのは、その時に考えることは可能かもしれないですけど、ただ本庁舎が現実問題30年後なのか20年後なのか、10年後かといったときに、そこまでセットで考えていけるかというのはちょっと悩むかなと思います。
	A委員	今、労災病院が建替える計画がありますね。そうするとそこへくっ付けるというような、そういう考えはないんでしょうか。
	事務局	労災病院そのものには、くっ付けるということではできないと思います。ただ隣接地でなにかするということであれば可能だと思います。
	A委員	くっ付けることはできないっていうのは何故なんですか。
	事務局	労働者健康福祉機構という組織の中で労災病院の建て替えを行うからです。
	A委員	それはわかるんですけど、しかしくっ付ければ効率としては非常にいいわけですよ。
	事務局	そうですね。
	A委員	だからその縦割りを、なんとかそこをね、やるようなそういう努力っていうのはできないんですか。
	事務局	隣接じゃないんですけど、その近くには建てようっていうそういう計画は勿論あります。介護医療ですね福祉関係のそういう支援施設を建てるという計画です。ただし、どれだけの機能を持たせるかという、今の健康センターの機能すべてをそこに持っていくと、そういうことにはならないと思うんですね。今の健康センターですと、障害者のリハビリ関係とかで

15 : 00	A委員 会長	<p>すね、いろんな健康支援関係、それと子育て支援をやっています。どちらかといえば子育て支援はちょっとそこからはずすとかというふうに、今考えている途上です。当然新しい病院ができますので、それと福祉医療、それを連携しつつ、それは作っていかうという計画にはなっています。</p> <p>縦割りの弊害みたいな気がしますけど。</p> <p>どんどん高齢化が進んでいったときに、ワンストップサービスっていうふうな考えが非常に大事だと思います。それが施設の集約化複合化にもつながって、行革にもつながるっていう視点が一つあると思いますので、そこはいろいろな制約の中で、できるだけことは考えていかなければいけないというふうに思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。あるいは今回の提言にそういう方向性を書けるようなら書いていけなかなと思います。</p> <p>ほかはよろしゅうございますでしょうか。消防本部等については耐震化の必要性は今のところ無しということでございますが。</p> <p>それではですね、この大分類Aにつきましてはおとりわけ庁舎につきましては庁舎の統合という話、それから耐震化ということ、これはことを急ぐような課題であるというふうなご意見を頂戴いたしました。それから個々の論点についていろいろ意見が出てきて、ご意見をいただいたと思いますので、ぜひそこを反映させたような形で、案を全体の提言として作ってまいりたいというふうに思います。</p> <p>それから健康センター、学校給食センターにつきまして、その施設のそのものの位置付けをいろいろ考えていかなければいけないということだったと思いますので、ここも今日の意見を踏まえて少し考えていきたいです。後でまた時間があればもう一度ご意見をお伺いする機会もあろうかと思っておりますし、それから次回と次々回の個別検討が終わりました段階で全体の整合性とも確認する場を設けておりますのでご意見がありましたら改めてそれで頂戴したいと思います。</p> <p>それでは次の、大分類で言うと市営住宅・公園ですね。こちらのほうに話を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>市営住宅と公園につきましては、比較的というかかなり件数が多く公共施設検討シートでいうと番号の72番から112番までございます。ただ個々の物についてご指摘でも結構でございますし、それが難しければ全体についてでもご意見いただければと思います。大きく分けまして市営住宅とそれから公園広場というふうな2つに分かれております。</p> <p>市営住宅につきましては、かねてからご議論いただいたところで、老朽化が著しいというところがあるので、早急に対策を講じないといけないというところがあるかと思っております。</p> <p>それから公園広場につきましては、個々の公園1つ1つ書いてあるわけですが、比較的大きなものが魚津市総合公園ですね。いわゆるミラージュランドですよ。それがわりと規模的には大きいものかなと、検討シートでいうと104番というところがございます。</p> <p>それではちょっと性質の違うものも出ていますので、まずは市営住宅のほうから少しご意見あるいはご質問等あればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	E委員 事務局	<p>住宅については、集中プランの進捗状況からするとずいぶん改善されているという分類の中に入るわけなんでしょう。</p> <p>そうですね、古いものについては順次壊すような取り組みを進めておりますので、そういった意味である程度順調に進んでいるというような進捗状況にはなっているかと思っております。</p>

E委員 事務局	<p>古い市営住宅について、その入居者をどこかに一人ずつ集約をしておられるんですか。</p> <p>できるだけ強制的ということにはなかなかいけないので、例えば2戸1戸の長屋形式のお宅だったら、できるだけ一緒に新しい入居先を見つけていただくというようなことをお勧めはしています。後は、年が行った方はどうしてもやっぱりそこで馴染みの方々とコミュニケーションというか近所付き合いがあるものだから、やっぱりなかなか新しいところに行きづらいというか、足が向かないということもあつたりします。そういうこともあるんですけれども、できるだけ壊れやすいからなるべく移転をお願いしますということで、移転していただいたところから2戸1戸のところはセットで取り壊して更地化して、次のときのための準備に備えておくという作業を今しております</p>
E委員 事務局 E委員	<p>沢山の団地があつて、そこに何棟か建物があつて、その全部はなくならないわけなんです。</p> <p>壊したところとまだ住んでいらっしゃる場所があります。</p> <p>それが、効率の面からすると難しいというか、全部更地にできればいいんだろうけれども、そうはなかなかいかないわけですね。</p>
事務局 E委員 事務局	<p>そうですね、出てけということは出来ないもので。</p> <p>強制ではないけども、インセンティブはできるだろうと思います。</p> <p>ただ、吉島市営住宅は火災復興のために造ったんですよね。50数年経っているんで、非常に危険だということで、あそこについては出て行っていただいております。やはりお年寄りの方で半数の方ですと民間アパートというよりもどちらかといえばその福祉関係のですね、そういうところへの入所手続もしていただいております。吉島市営住宅はみんな出ていっていただいて、これはどういうものに役立つのかまだ将来的なものは決まっておりますが、そういう手続きと申しますか、吉島市営住宅についてはしております。</p>
C委員 事務局 E委員	<p>100%になったんですか。</p> <p>今だいぶ整地していますが、順番に立ち退きしていただいております。</p> <p>小川田なんかもずいぶん古くなりましたよね。</p>
会長 事務局	<p>14軒というのは、募集の停止を除くので、全部で14ということですか。</p> <p>今例えば転居していただくとか、そういったことに関して行政のほうで何らかの支援措置をしているとか、そういうことはあるんですか。</p> <p>当然、交渉に個々に入っておりますので、移転費用とかですね、そういうのは、割と移転費用とかを含めて補償はそれぞれ提示しながら個々の交渉はやっております。</p>
会長 事務局 E委員	<p>だいたいそういう形で、動いていただける方はもうおおむね動いていらっしゃるという風な理解でいいんですか。</p> <p>今も進めていっております。</p> <p>年々自然に進んでいくし、5年ぐらいするとずいぶんこれは無くなるという見方ですか。</p>
事務局 B委員 事務局	<p>そうですね、だいぶ集約されると申しますか、市営住宅として管理するのはもう住宅の計画に定まっている戸数に集約されていくはずで。</p> <p>高齢者の方が多いですか。</p> <p>多いですね。安価といひましようか結構家賃自体が安いので。民間のアパートに行っていたかというよりも、これから残していこうというそういう市営住宅の方に移っていただくか、高齢者向けのいわゆるアパートといひましようか、介護までは行きませんがそういう福祉関係のところに入ってもらうという形で交渉しております。</p>

B委員	逆に魚津市で残せる市営住宅っていうのは何箇所ありますか。
D委員	6箇所ですね。
C委員	老朽化比率100%以外はだいたい残せるんですかね。
D委員	このシートの5番目の効果のところで金額計算すると、年に2,480万円の効果があるんですね。結構大きいです。
C委員	おそらく生活弱者の方が家賃数千円でおられるもんだから、そこを他所に行けと言ったら生活できなくなるということで、なかなか言えないんでしょうね。だから逆に言うと、家賃も多少負担するから移って下さいよみたいなことも言っておられると思います。そうでもないんですか。そうしないとおそらく、効率のことを考えるとそうしてでも得のような気がしますけど。
会長	これはあれですか、老朽化がそれほど深刻ではなくて残していけるものっていうものを残していって、だいたい、その市営住宅の計画供給戸数みたいなものに一致するくらいの数なんですか。
事務局	前に、担当課のヒアリングがあった際に担当課の方からだいたい今400くらいあるのを300程度ぐらいにしたいという話があったんじゃないかなと思っております。なので、今、施設の検討シートで残していこうとした施設の入居戸数を計算すると約280から290ぐらいなものですから、おおむね担当課の思いと同じくらいかなというところで、そういうふうな形にさせてもらっております。
C委員	時間がかかりますね。
事務局	そうですね。
会長	何箇所かに分かれていると管理がしづらいかかそういうことはあるんですか。
事務局	そのようなことはありません。
会長	そしたら、今の話でだいたい300戸を目処に継続的に戸数を調整していくという形でお願いですね。300戸も書きちゃったらどうですかね、提言の中に。少しでも具体性のあるような形を出していったほうがいいのかもわからないような気がします。
C委員	跡地を有効に活用するといった場合、広い更地であったほうがいいんですよね。
事務局	市営住宅の土地はみんな市有地ですか。
事務局	だいたいほとんど市になっています。
C委員	相当面積になりますよね。さっきから同じような意見を言って申し訳ないんですけど、市のこの所有土地については売却すべきだと思うんですよ。そのほうが税収が入るわけですから、毎年入るわけですよ、固定資産税としてね。それで何か家を建てられれば家の税金も入るわけですから。その辺を少し検討されたらどうかなと思うんですよ。なるべく市は土地を持たないようにすることが、市の財政を豊かにすると思うんですよ。誰かが買って、税金入るわけですからね。そういったことを財政課のほうで検討されたらいかがかなと思うんです。
会長	まずは有効に活用していただいて、そこでどんどん事業を広げていただいて税収を払っていただくと。これはもう願ったりかなったりということですよ。
E委員	現在の経済状況では、更地にしたからといって、手を挙げる人っていうのはなかなかいないと思いますけどね。
C委員	ただ安く買ってもらってでも毎年の税収を考えると、一時はちょっと安くて、今までの路線価より低いというところもあるかもしれませんが、結果的には何も入らないよりもいいと思うんですよ。遊ばせて管理費かかる

D委員 事務局 会長	<p>わけですからね。有効利用できる場所は、まあ手放さないにしてもそのようなことをちょっと思ったことがあります。</p> <p>第一、第二分庁舎というのは、国の資産を買ったんですか。これは何年以内になにかしたら駄目とかっていうのは別に無いのですか。</p> <p>無いと思います。</p> <p>全体にいえることですよ、あの施設から土地から何から何まで持って行政サービス提供するっていうのは、そろそろ考え直した方がいいのかも分かりません。</p>
D委員 会長	<p>ソフトに徹するとか。</p> <p>市営住宅でも、例えば民間が建てたものを市営住宅として活用できないのかということ、色々あれですよ、規格が違うとか難しいこともあるでしょうけれども、そういったことができないかというところ、全ての面において身軽になっていただくような方向で考えてもらいたいと思います。</p>
F委員 事務局	<p>市営住宅についても、概ねここでのご意見というのは集約されているのかなというふうに思いますので、そのあたりについて反映させていただきたいというふうに思います。また、ほかにもご意見があれば伺いますが、その次の公園広場というところに移ってまいりたいと思います。</p> <p>先ほども申し上げましたとおり、魚津総合公園が少し規模の大きなものとしてございますが、そのほかにも公園がございます。ご意見あるいはご質問等があればお願いいたします。シートの番号でいきますと、86番から112番までです。公園については、ミラージュプール等は除きまして、特段、委員会では意見は出なかったんですけども、個々の公園でも結構ですし、全体の方向性でも結構ですが、何かございますでしょうか。</p> <p>公園について、直営と里親制度はどう違うのですか。</p> <p>里親制度は、直営は直営なんですけれども、地域の方々が自分達の公園だからということで、草むしりとか色々軽微な管理的なことを自分達でしていこうということで、里親登録していただいている制度です。</p> <p>ですから、市の物であるため市は直営で管理はしています。電気代を払ったりとかトイレの水代だったりというところは市が払っているのですが、一応その地域の方にもサポートしていただいているというのが里親制度であります。</p>
E委員 事務局	<p>最近子供達が少ないこともあるけれども、公園で子供達が遊ぶというそういう目的よりも、防災とか避難のための位置づけというのが大きくなってきているわけですか。</p> <p>大きくなっているというか、災害時には一次避難所ということでまずはそこに逃げてくださいということで、プレートのもを設置させてもらっています。</p>
E委員	<p>日中を通りかかってみるとほとんどそこに人影ってのが無い公園というのはいっぱいありますよね。</p>
C委員 事務局	<p>里親制度はうまく機能してますか。</p> <p>一番最初にその公園里親制度で登録されたのが大町だったかと思いますが、そこは結構うまくいってるのではないかと思います。</p>
D委員	<p>これは市からの要望なんですか、それとも地元からこうゆうのやるよっていう話があったのですか。</p>
F委員	<p>基本的には地元有志が管理しているということで、管理すれば愛着も出てきますし、利用度も増えますし、イベントにもよく使います。</p> <p>逆に、その地元で全部管理をお願いしていったほうが、直営でやるよりは、経費のことも含めて考えた方がいいのではないかと思います。</p>

会長 事務局 会長 事務局	<p>この制度の導入はいつごろからですか。</p> <p>大町海岸公園ができたときじゃなかったかと思います。</p> <p>だいたい何年ぐらいですか。</p> <p>海岸道路のN T Tの用地跡に大町海岸公園があるのですが、平成 18 年頃だと思います。この公園をせっかくだから綺麗にしていこうということで、地元の方から話しがあったのか、市の方から積極的に働きかけたのかは分かりませんが、そこが第一号だったような気がします。</p>
会長 事務局	<p>里親は増えてますか。</p> <p>担当課の話では、新しい公園だったらわりといいんですけど、古いところはなかなか難しいということです。</p>
会長	<p>例えば、少しリニューアルするので、した後は管理をやっていただけませんかみたいな、そういうやり方で管理をお願いしていくというやりかたってというのは駄目なものでしょうか。</p>
会長	<p>今まで市でやってもらっていたものを、なぜ自分達がというところがあると思うんですけどね。</p>
事務局 E委員	<p>いいきっかけになればと思っはいます。</p> <p>公園の利用量について、電鉄前のでんでん公園では、地元の方達がバザーや青空市などをやっておられます。公園としてああいう使い方はいいなあと思って見てますけどね。そういう方向には進んでいかないものでしょうか。</p>
D委員 会長	<p>そういう方向に進めていくべきなのかもしれません。</p> <p>公園は地元で管理していただいた方がいいんじゃないかと思っはいますけどね。身近なところで。そのほうが、決して行政としての経費が削減できるという、それもあるんでしょうけれども、それだけじゃなくて地元の人が一番いいなと思うような使い方ができると思っはいます。そこを、こういう使い方もあります、こういうこともできますという形でサポートしていきながら、地元の人に使っただけかどうかと思っはいます。それで管理もしていただくと。</p> <p>例えば先ほどの話じゃないけれども、子供がもうほとんどいないようなところであれば、遊具は必要かっていうと、これは必要なくて、むしろ別の物が必要なかわからないし、そういった中でリニューアル、それはそれでお金かかりますよね。そういったものをきっかけに地元での管理をお願いしていくということで、基本は地元での管理としていいのかなと思っはいますよね。</p>
E委員 事務局 E委員	<p>例えばNo.88の新金屋公園ですけど、支出は394万6千円ですか。</p> <p>電気、水、草むしりを年に3回くらいやってもらっていると思っはいます。</p> <p>それは里親制度をやりながらも、有償の人材も入れているということなんですか。</p>
事務局	<p>トイレの清掃だと例えば清掃公社やシルバー人材センターにお願いするときもあったり、里親制度といってもあくまで公園全体の清掃というか草むしり程度とかそういうようなところでして、やっぱりお金をかけなきゃいけない維持管理部分もどうしてもあるというところですよ。</p>
E委員	<p>シルバー人材センターにお金払うくらいなら、地元の老人会にお金払って管理してもらったら、よっぽど経費節減になると思っはいます。半分くらいで済むと思っはいます。</p>
F委員 会長	<p>こんなに沢山公園があるって実は知りませんでした。</p> <p>それでは、公園につきましても、およそ方向性としてはできるだけ地元の方に管理していただく、あるいは地元の方が使い方工夫していただくというふうな形で、例えばその維持管理、地元でいいと思えばシルバー人</p>

	<p>材センターに有償で委託すればいいですし、地元で、自分達でやるっていうのであれば、その部分を老人会なりで、行政が多少経費を払ってやってもらうというようなやり方もあると思います。地元の力をあるいは工夫をできるだけ生かすような形で、維持管理の効率化を図るといような形で少し考えていかなければならないと思います。</p> <p>ちょっと規模が違うのが104番の総合公園でございます。施設が抱える課題として、老朽化が進んでいます。それからプールがございまして、これの将来像も考えなければいけないということです。委員会での意見としては、施設としては非常に厳しい、あるいは競争力に欠けるのではないかとしております。若者が集えるような施設には今のところなっていないのではないか、というふうなところが中間報告でも出されたところでございます。方向性として、事務局の方でさしあたりちょっとまとめていただいたところとして、施設の長寿命化を図りながら当面は維持することとし、プールはリニューアル、それから一体的な施設配置を検討というところでございますが、この点につきましていかがでございましょうか。</p>
F 委員	プールの負担が大きいんでしょう。
会長	そうですね、プールが負担ですね。
B 委員	魚津市は、海はあるけど海水浴できるところが一箇所もないから、海水プールだけですよね。
会長	これはあれですか、全面的なリニューアルっていうふうに事務局の方お書きになられてますけど、リニューアルすれば入場者数もそこそこ回復するのではなかろうかということでしょうか。そういう長期的に必要な施設ではないだろうかっていう判断というか、まあお考えなんですかね。
F 委員	プールと水族館の一体化について可能であればいいなと考えるけど、競争力がないというのは問題ですね。
A 委員	あそこは海水プールなんですよね。
F 委員	あれは売りになると思うんですけど。
E 委員	プールの稼働の時間が短いんですよ。1年中やっていたらいいんですけど、なかなかそういうわけにいかないところがあります。それと潮風で遊具の維持管理費がかかりますよね。本質的にはそのようなお金がかかる施設ではあります。全面リニューアルすれば、しばらくはお客さんが来るでしょうけど、この支出と収入が逆転するというわけにはいかないのではないのでしょうか。とすればああいうものはやっぱり魚津の一つのシンボルとして、何とか維持していこうよというところに集約できるんじゃないだろうかと思えますけどね。
事務局	あのプールは、実は全面的じゃないんですが補修をかけたところなんです。30年目にして初めて、プールのいわゆる塗装や、更衣室が暗い汚い臭いと言われていたので、それに3千万余りをかけて、全面的ではないですけど、少しリニューアルを行いました。今年はちょっと7月が天候不順で利用者が入らなかったそうなんですけど、1万7千人から2万人ぐらいの唯一儲かる施設ではあります。
C 委員	儲かるのですか。
事務局	儲かると思いますよ、収入があるということで、儲かるという少し語弊があるかもしれませんが。
C 委員	この、2百何十万円のことですか。
事務局	ここにはプールの入場料というのは入っていないと思うんですけど、あのプールは海水と真水を混ぜてブレンドしてあるんですが、県下ですとああいいうミラージュランドという遊具施設は県下でここだけです。
	県の太閤山ランドは魚津のミラージュランドの翌年にできたんですね。



		<p>太閤山に比べれば、ミラージュランドのプールは規模は小さいですけども、しばらくは維持していこうということで、今年は初めて手を入れたという状況です。</p> <p>ただ、ミラージュランドには遊具施設があるんですが、この遊具施設は市が管理しているのではなくて、それこそ施設管理公社がやっています。</p> <p>あのメリーゴーランドでも今入れたので1億円とかで、価格があってないようなものなんでしょうけれども、やはり経営というところから見れば厳しいんですが、今何とかやっとなという状況です。そういうのも含めて総合公園の中にあるそういう施設というのは、ある意味珍しいんじゃないかというふうには思っています。ただし昭和56年に水族館を総合公園の中に造ったんですが、そこだけでは集客力が弱いだろうということで、翌年57年にミラージュランドといういわゆる遊具施設を造りました。</p> <p>プールはその翌年58年に造ったんですが、それから時代が相当変わっているということで、まあ将来的にどうかというと、これはやはり議論の余地があるのかなという気がしています。</p> <p>ただ、当初造ったときは、結構斬新なアイデアだったのかなという気はします。ただし30年たってこれからずっと維持していくのかということになると、やっぱりいろんな検討すべき事案があるんじゃないかなというふうに思っております。</p>
C委員		<p>支出に5,460万円と書いてあるんですけども、この収入の中身はどういうものなのかは分かりませんが、水族館は水族館で施設管理公社がやっておられるんですよね。</p>
事務局		<p>いや、水族館は市役所が直営でやっています。</p>
C委員		<p>運営についてはどうですか。</p>
事務局		<p>市が直営でやっています。</p>
C委員		<p>チケット販売なども直営ですか。</p>
事務局		<p>部分的に委託しているところはあります。</p>
C委員		<p>要は何を言いたいかということ、ああいう施設があって、単独の収支は書いてあるんですけど、結局市役所があれにどれだけ支出していて、どれだけ収入があって、それで、要はああいう建物というのは、市民の娯楽のためという部分もあるんでしょうけど、でもそれはそれとして考えても、収支決算は出さないとだめだと思います。</p>
事務局		<p>例えばこれだと、水族館に対して市役所は直接やっているからどれだけかかっているかわからないみたいなのところがあると思います。どっちが中心になっているのかがわからないけれども、あの遊具施設っていうのは、施設管理公社の所有なんですか。</p>
事務局		<p>施設管理公社の財産です。</p>
C委員		<p>施設管理公社はそれで収支決算は成り立っているんですか。</p>
事務局		<p>一応成り立ってはおります。</p>
C委員		<p>そこまでは市役所は管理する、関与する必要はないのかどうか分かりませんが、要は何が言いたいかということ、要はあの施設全体でどれだけ市役所が金を出していて、どれだけ収入があつてということ把握されているのかちょっと見えないところがあるもんだから、この資料からすると、収入が2百何十万円で、年間5千何百万円支出してますよという考え方をすればいいんですか。</p>
事務局		<p>まず、この総合公園のシートの収入支出なんですけど、ここの収入は市の会計で目に見えて入ってくるレストハウス使用料とか総合公園の使用料とかっていうのは貸している部分の使用料の収入っていうことなんです。それで、支出の方は施設管理公社に委託している委託費がほとんど</p>

		<p>で、それが4千9百万とか、5千万弱で、後はその営繕の工事費とかになります。</p> <p>プールの入場料はどうなっていますか。</p> <p>施設管理公社の収入になっています。</p> <p>それを含めて指定管理料って決めてるんですよ。</p> <p>水族館は、市の方から1億円支出しています。</p> <p>5千万とは別にそれだけ支出しているんですか。</p> <p>そうです。水族館は一つの独立した特別会計を持っているので、そこだけで収支をやっています。足りない部分は、いわゆる市の一般会計から繰出金を支出しています。それが約1億です。</p>
	C委員 事務局 D委員 事務局 C委員 事務局	<p>将来的にだんだんそういったものが負担になってくるね。</p> <p>これだけの5万未満の都市で、公立のそういう水族館を持っているところは無いと思いますね。まあ魚津は水族館に埋没林博物館、民俗資料博物館といった博物館を持っているんですけど、そこには当然専門の学芸員も配置しているということで、これだけの都市の規模で、10人くらいはいたかと思います。学芸員というのをそんなに沢山置くところは多分無いんじゃないかなと思っています。それをマイナスと捉えるかプラスと捉えるかは、これはやはり市としての考え方次第だとは思いますが、本来は水族館とか動物園というのは、やはり県とか政令指定都市ぐらいの規模があれば経営はできるんでしょうが、なかなかこれだけの小さい市でやっているというのはちょっとないと思います。</p>
	C委員 事務局	<p>ある意味、それを誇りにしてはおります。</p>
	D委員	<p>旭山動物園みたいに利益が上がっていれば誇りに思えるのかもしれないけど、埋没林博物館に毎日何百人何千人が来ているというわけではないような気がするから、ここは知恵の出どころなのかもしれません。</p> <p>誇りに思うところはいいのではないかなと思ったりするけど、どうなんですかね。</p>
	C委員 B委員 事務局	<p>なんとか維持したいですよ。知恵の出どころなんですかね。</p> <p>あと、総合公園のパークゴルフ場。あそこは今よくなるんですか。それとも今までのままですか。</p> <p>少しコースを増設しまして、あと中身の方を入れ替えして、できれば9ホール×3みたいなものができないかということで、検討をしているところです。</p>
	B委員 事務局 B委員	<p>今2コースだけですよね。</p> <p>そうです。</p> <p>他市から見ると、遅いっていられていますね。パークゴルフをされる人たちは結構おられると思うんですけど、もう少し魚津市の中でお金を落とすようにシステムにできないものですかね。</p>
	D委員	<p>どこかでパークゴルフが盛んになって、市民が沢山やられることになって、皆さんが健康になって、医療費が下がって介護費用が下がっているような社会福祉の金が減っているというものを、何か数字で表しているものがないんですかね。それが出てくるともっと造っても強気になってこられるかもしれません。</p>
	B委員 会長	<p>そういうデータがあればいいんですけどね。</p> <p>例えば施設管理公社に今、委託しているんですよ。その委託料、もう一步踏み込んで、運営の実勢みたいなものを深めるような形で、こうやっていただくとかっていうのは無理ですか。例えば収益が出たらそれは公社に還元しましょうと。単独で採算っていうのは難しいから、いずれにせよ一般会計からお金をつぎ込まないといけないんですけども、それは今後定</p>

		<p>額にして最低限度額にして、言ったら言葉は悪いんですけども、切り離すような形にするということです。そのかわり工夫してやっていただくと、いろいろな効果が上がるんだったらそれは管理公社で自由に使っていただくというふうなことは無理ですか。</p>
事務局		<p>既に利用料金制度の指定管理にさせていただいております、ミラージュランドとかどンドン入場者が増えていけば、施設管理公社の収入になるという契約になっております。</p>
会長		<p>それでは、それをもう一步進めて、例えば施設の例えば遊具でも何でも、導入だとか、どれをどれだけ導入するだとか維持していただくかっていう判断も含めて、公社に委ねるっていうのは無理ですか。</p>
事務局		<p>複雑でありまして、大観覧車とか、いわゆるミラージュランドのプールを除く大きな遊具があるところは、実はミラージュランドという施設管理公社の独自の運営部分でありまして、プールは市の施設でそれを指定管理でお願いしているところです。水族館は市の施設で、受付とか案内だけの業務を施設管理公社に委託しているというような、ちょっと複雑な形態があります。もし今後何かの可能性としてあるとすれば、水族館部分に指定管理を入れられないかとか、そこで入場料を沢山とってそれをまたミラージュランドを含めた全体に反映させていくっていう可能性といいますか、余地はあるのかなという気はします。</p>
会長		<p>ただ、博物館という特殊なところでもありますので、全国的にもあまり博物館そのものに指定管理者制度を導入しているというのは、数は非常に少ないというようなことも聞いておりまして、ちょっとそこらあたりが難しいといいますか、そういった方向に進めていっていいのかなというところがあります。</p>
事務局		<p>一体的に管理運営していただくほうが、先ほどからご意見出てるのは、一体的に施設の配置をやらないといけないのではないかっていうことなんですけども、まず一体的に運営してみても配置がこうなんだからどうしようもないっていうんだったら、配置の問題から考えてみないといけませんよね。それで全体としても魚津総合公園の魅力を出してもらうような形で、インセンティブをつけてあげないと、なかなか今のままじゃジリ貧で、多分施設の維持は無理だと思います。見ていても多分、少子化の影響もあると思いますしね、入場者数は2万超えていたのが1万5千くらいに減っているというのは問題だと思います。</p>
事務局		<p>だからそこを抜本的に変えないと、もちろん魚津市のシンボルとして残すという選択肢はあるんでしょうけれども、それだけの覚悟を決めてお金を出し続けるっていう形が、合意がないと先に進めないような気がします。その決断をする前に何か工夫ができることがあれば、できるだけやっていただかなければいいんじゃないかなと思います。</p>
D委員会 会長		<p>例えば独立行政法人だとか。 そうですね、独立行政法人については考えたこともなかったんですけど、指定管理についてはちょっと議論はした結果はありますけども、独立行政法人と違ってそういった考えで検討したことはないです。</p>
		<p>逆に会長、その場合のメリットってどのへんなんですかね やはり自由度は増しますね。直営でやってたりするときに比べて。 そこで自由度を持ちながら工夫をしていただくと、そのかわり成果はきちりちりとみせてもらいましょうっていうことだと思います。</p>
		<p>どれだけの成果が上がったかで、例えば運営費の交付金みたいなものをこれだけ出しましょうというふうな形でインセンティブの一つになると思います。</p>

16 : 00	<p>C委員</p> <p>会長 C委員 会長</p>	<p>直営でやっているのも、もちろん魚津市としてこれは必要だからっていうのも一つの見識だと思いますし、指定管理者でやるっていうのもこれはこれだと思います。いくつかやっぱり選択肢があるということですよ。組織全体のあり方から考えることっていうのも、必要なというふうに思いますよね。</p> <p>将来的にやはりこれだけ財政難になってくると、毎年、一億円を出していくということは辛くなる時期がくるような気がします。</p> <p>最初の水槽、巨大水槽ができたときはやはり相当インパクトがあって、相当沢山こられたんですよ。だけどああいうものは、技術が発達すると大阪の南端にもできるし色々なところに造られていきます。凄い水槽で、ものすごい仕掛けのところがあちらこちらにできると、魚津水族館は貧弱になって見えてきますよね。だからそれとともに入場者数も少なくなっているんだと思います。</p> <p>やはり資本、魚津市が直接運営するには限界があるような気がするので、今後は、今言われた独立行政法人なのか民間委託なのか、水族館を守るためには、また違う魅力ある物に維持していくということになればね、自ずと選択肢が限られてくるような気がします。</p> <p>それともう一つ、どうしてもやはり埋没林は動かせないんだろかと思っています。くっ付けることはできないのか、横に水族館や海の駅屋気楼があって市場もあれば、結構それなりに来るんじゃないか、という見方の方もおられます。</p> <p>まとまっていたら結構いいところなんですよ。結構いいような気はしますね。</p> <p>市単独として持つのは、結構特殊な事例だと思うんですが、将来的に例えば水族館を、市から少し距離を置いた形に切り離してですね、その代わり例えばですよ、これは思いつきで言っているからあれなんですけども、他の県の水族館とかそういったところと連携しながら維持をしていくと。</p> <p>それで、実地交流だとかをしながらやっていくとかというふうな、他のところがそういうところにOKしてくれないと話には先に進まないんですけども、そういうふうな形で何か広域化みたいな形のネットワーク化みたいな形で切り口を探ってもらえるのも一つの考え方かなというふうに思いますよね。</p> <p>ちょっとまあ、水族館、後で別に出てくるんですよ。それで、どうですか、そのミラージュプールのほうも含めた個々の方向性っていうのはどうですかね、今いろいろご意見いただいたところですけども。</p> <p>少なくとも「長期で維持」っていうこの丸のつけ方よりも、もう少しちゃんと見直すほうがいいのかもわからないですよ。例えば中期というところで、やめるというわけではなくて、どうしていくかというのを考えるときに決めていく方がいいのかなっていう気はします。</p> <p>いかがでしょうか。その辺も含めてご意見ございますでしょうか。もし無ければ、ここでいったん先ほどから言っていた水族館だとか埋没林博物館だとかとあわせて考えていくので、そこが出てきたときに改めて今回指摘されたことについても検討したいと思います。</p> <p>それでは、一通り大分類の市営住宅・公園につきましてはご意見頂戴しましたので、その次ですが、その他という分類を今日考えることになっております。</p> <p>その他というのが、番号でいいますと113番から159番までございまして、まあ集会施設であるとか、分団の詰所でありますとか、それから市民バスの車庫でありますとか、まあまさにその他でございまして、このあた</p>
---------	-------------------------------------	---

		<p>りにつきましてご意見、あるいはお考えあればお聞かせいただきたいのですが、いかがでございましょうか。</p> <p>一つは113番から130番までの集会施設、あるいは地域センターという、まあ中分類でいうとそういう括りの施設でございます。これらにつきまして、いかがでしょうか。</p>
E委員		<p>この集会所は住宅とセットですから、住宅が集約されていくと必然的にこれも整理が進んでいくわけですよ。</p>
会長		<p>そうです。</p>
会長		<p>これは市営住宅に付随している集会所ですか。</p>
事務局		<p>いや、はじめの4件は違います。</p>
E委員		<p>要は27住宅にみんな付随しているんですね。</p>
事務局		<p>そうですね、市営住宅に合わせた表現に一応しているつもりではございます。</p>
会長		<p>これは、自ずと市営住宅の方向性が決まれば決まってくるというものですね。</p>
D委員		<p>この維持管理費ゼロっていうのは、電気とか水道代とかそういった費用はどこで負担になっているんですか。</p>
事務局		<p>地元負担です。</p>
会長		<p>そのほかの、例えば113番の北山農村集落センター等については、地元へ譲渡ができないかというのが事務局案ですね。</p>
C委員		<p>農村改善センターが市直営になったということは、誰か職員を置いているということですか。</p>
事務局		<p>臨時の職員を配置しています。</p>
C委員		<p>地域に任すことはできないのですか。</p>
事務局		<p>農村改善センターは、一応魚津市で一つという考え方で造ったので、あれだけの多目的ホールを持っていることもありますし、加積だけで管理運営というのは難しいかと思えます。</p>
C委員		<p>でも、実際には加積の人しか使わせてもらえないじゃないですかね。</p> <p>受付で、農家もしくは加積の方という言い方をされるけど、なかなか他の地区からあそこに行って使うという方はいないのではないですか。</p>
D委員		<p>確かにそうですね。</p>
C委員		<p>受付で、あなたは農家ですかと言われました。農村改善センターだからね。前も色々使わせてもらっていたので、その時は文化団体に借りようと思って行ったのですが、農業に関する方々じゃないと駄目だと言われました。農業に関する方々が、他の地区からここに来るかというとなかなか来れないと思うので、そういうことであれば地域で運営しているのと一緒だと私は思いますけど。</p> <p>市が直営でやっているのは、こう言ったら失礼ですけど、吉島地区、加積地区のためだけにやっているのと一緒になってしまう気がします。</p> <p>それなら地元へ渡してしまえばいいのに、と思うわけです。</p> <p>ただ助成金があって建てていると思うので、実際にそういうことが可能なかどうかということもあると思います。ただ、他の地区からはおそらく誰も来ないと思います。</p> <p>市で直営というなら、せめて対象者を緩和して、例えば文化団体にも開放するというならまだ分かるような気はします。</p> <p>市が直営で管理しており、年間283万5千円を支出していますし、軽費削減というのはこういったものをどれだけ圧縮するか積み重ねだと思えます。</p>
D委員		<p>そういうことは今まで検討されたことは無いんでしょうか。</p>

事務局	<p>農村環境改善センターを譲渡っていうところまではまだいけないと思います。というのも、国の補助金を半分入れて造った施設なので、まだ財産制限処分期間中ということもあり、処分するときは補助金返還しないといけない施設だと思います。</p>
D委員 事務局	<p>厳しいですね。 北山集落センターや改善センター絡みの関係で、色々と農政局にも相談には行ったんですけど、なかなかいい返事がもらえません。 譲渡の必要性や、なぜ地元にとすのか、その理由をしっかりと明記しろと言われます。地元の人たちのために造った施設だからと言っても、もともとは市の全域のために造ったんでしょうと言われ、こちらもちよっと作文能力が無かったところもあって、今は様子を見ているところです。 担当課としては、なるべく地元にとす方に、地元にとしたいというところで努力はしているところです。</p>
C委員 事務局	<p>譲渡先は、地元の農家ということなんですか。 建前はそうですけど、実際に農村環境改善センターであれば加積地区の公民館の代替施設として使われるはずなので、その辺はこだわりません。 その地域の方々が中心となって使っている施設であれば、地域の方に譲渡ということも当然考えられると思います。</p>
C委員	<p>改善センターには結構立派な体育館もあるので、そんなに利用制限をかけないでいただければ、結構色々な方々が利用できるような気がします。 小学生や中学生にしても、手ごろない施設だと思います。料理教室とかもできると思いますので、婦人会でも使われるような気もします。 そういった緩和をしていただいて、魚津市でPRしていただければ結構使うのではないかなと思います。</p>
D委員 E委員	<p>ネーミングから引っかかります。 スーパー農道も本来の目的は農業振興だったんでしょうけど、今は一般産業のための基幹道路になっていますからね。C委員が言われるとおり、枠は外すべきだと思います。</p>
会長	<p>そのあたりは運用上の工夫でできるわけですよ。枠を外していったほうがいいことなんだという、何かそれこそインセンティブじゃないですけども、地元の方や利用している方々と一緒に考えていけばいいのではないかなと思います。</p>
A委員	<p>以前に改善センターを何度か使ったことがあるんですけど、研修会みたいな形でも何度か使ったことがあります。今、C委員の言われる制約があったことはぜんぜん知りませんでした。</p>
C委員	<p>文化団体で、月に1回毎月みたいな形で使っていたら他の方々が使えなくなるから、やめていただけないかと言われました。 ある程度前もって予約しないと、なかなかああいうところは使えないですけど。そういうことがあったので、実際は国の補助金などで造っているからしょうがないのかなと思うところもありますけど、それでもどうかなと思います。</p>
D委員	<p>ネーミングは多少付け替えてもいいのでしょうか。農村環境改善センターというのを無くするとまずいかもしいですけど、ネーミングを使いやすいものにして、市民がみんなで使えるようなものにしてはどうかと思います。</p>
C委員 事務局	<p>今はそんな制限をしていないんですか。 農村環境改善センターの管理条例で明記されています。</p>
B委員	<p>使用をやめてほしいと言われたのはだいぶ前ですか、それとも最近。</p>
C委員	<p>だいぶ前です。7、8年ほど前でしょうか。</p>

	事務局	<p>改善センターを建設した際に担当課におりまして、国へ補助金申請する建前上そういうお題目は付けて申請はしていたのですが、実際に借りるとき、使うときは、市民みんなで使ってもらえばいいのではないかという意識で運用しようと話はしておりました。</p>
	C委員 会長	<p>わかりました。 他の施設にも言えることですが、稼働率の向上を前提に長寿命化だとか補修計画を立てていくっていうことは大事だと思います。ですから、今ひとつ使い勝手が悪い施設というのであれば、長寿命化もしないし耐用年数が来たらやめるというふうにしないと仕方が無いと思います。</p>
		<p>ただ、そうではなくて、それを超えたような何か意義があるのであればきちっと長寿命化をして、少しでも長く使っていくようにするというところだと思います。そこはこの施設についても、他の施設についても同じだと思います。おそらく施設の方向性で長期と書いてあるのはそういうことだと思います。長期間維持していきますというわけではなくて、長期間維持するに足る施設なのかどうなのかをきちっと判断していくということだと思います。</p>
	事務局	<p>分団詰所は、小学校統廃合にあわせて複合化を図るべきであるということが、私達委員会の意見だったんですけど、実際に複合集約を図るということは可能でしょうか。</p>
	事務局	<p>学校の統廃合と連動できるのかということですが、今十いくつの学校が例えば市内で小学校6つに減ったときに、分団も合わせて6つにするという、そういう考え方でしょうか。</p>
	F委員	<p>緊急に動きが取れなくなるような気がします。</p>
	E委員	<p>小学校の数と一緒にしないといけないというわけではないけれども、小学校の統廃合に合わせて一つでも分団の統廃合も進めることはできるのかということおっしゃっているんだろうと思います。</p>
	事務局	<p>天神公民館ですが、あそこは昔、天神小学校あったところですけど、ああいうスタイルをイメージしていくことがどうかということだと思います。統廃合されてそこに小学校がなくなったけれども、例えばグラウンドとか体育館をそのまま残して、そこに公民館とか地元の中心になるような施設を集約していくっていうようなイメージでいくのかということだと思います。新たに小学校を建てたところだけではなくて、その跡地のところをどう使うかということも大事なかなと思います。</p>
	会長	<p>委員会で出た意見というのは、小学校統廃合の時期に合わせてつつその跡地の活用を考えるということですね。了解しました。</p>
	B委員	<p>大町の詰所は2つが1つになったんですね。</p>
	事務局	<p>そうです。</p>
	F委員	<p>地域的にそんなに広い場所じゃないから、あの動きやすい場所に詰所ができたということで、地元としては大変歓迎しております。</p>
	B委員	<p>今まであったところはどうなりましたか。</p>
	F委員	<p>今は町内会に払い下げて、町内会館として利用させていただいております。消防の詰所ですが、例えば小学校が6つになったから詰所も6つだけあればいいかっていうとちょっと不安です。</p>
	B委員	<p>確かに、防災とか他の面でそうですね。</p>
	E委員	<p>ただ、一方老朽化っていう問題もありますよね。</p>
	F委員	<p>大町も、老朽化と隊員数が問題で、人員が確保できないという状況です。</p>
	D委員	<p>基本的にはこの小学校の統廃合に合わせてということベースに消防詰所の集約を考えていけばいいのではないかと思います。</p>
	C委員	<p>片貝は二つしか書いてないけど、本当は4つの詰所があります。</p>

	<p>D委員</p> <p>会長</p> <p>事務局 会長</p> <p>A委員</p> <p>B委員</p> <p>会長</p> <p>D委員</p> <p>B委員</p>	<p>だけど村で造ったので、2箇所になっているんだと思います。</p> <p>昔は人数も多かったんですけど、過疎化でだんだんと団員がいなくなってきた、時間の問題でおそらく20年もすれば片貝地区で一つに集約される気もしますね。</p> <p>自然に人数も減っていくし、分団も統合されていくと思いますね。おそらく山間地はみんなそうだと思います。松倉にしろ西布施にしろ、そういうことが発生してくると思います。</p> <p>それでは、消防詰所は必要ない施設というわけじゃなくて必要な施設だと思いますので、基本的には長期で維持という形でしょうけれども、ただ、今お話があったような事情もありますし、それから小学校統合後のプランというものでてくるでしょうから、そことのバランスですよね。どうしても緊急の物は緊急に手当しなきゃいけないでしょうけれども、そうでないものについては統合、あるいは、小学校の統廃合に合わせてその跡地を活用する道を考えるというふうな形で一般的な議論としてはしておいて、個別のそれぞれの事情については、老朽化比率だとか広域化を考えていかなざるをえないというところでしょうか。</p> <p>次に、その他のその他という分類ですけれども、146番にキャンプ場、それからポンプ置き場、水防倉庫、市民バスの車庫などがございますが、このあたりについて、特にこれは個別の点になってくると思うんですけど、何かお考え、あるいはご意見などございましたらお聞かせいただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっと気になっているのがキャンプ場です。キャンプ場は今まで指定管理でやっていなかったというのは、何か理由があったんですか。</p> <p>指定管理で受けていただける団体がなかったということです。</p> <p>じゃあ指定管理は、ちょっと難しいですかね。</p> <p>収入が16万6千円というのは、収入が少ないってことですか。例えば蛇石とか洞杉とかと合わせてPRすれば、利用者が増えるんじゃないかと思うんですけど。</p> <p>山に登っていくための起点になるので、これからは重要な場所になってくると思います。結構、県外からも問い合わせがあったりしているみたいですね。やはり、単独で山に入られると怖いので、この片貝の守キャンプ場に必ずお寄りくださいというかたちをとっているようです。</p> <p>そしたら、廃止というのは無くて基本的に維持の方向で、よりよい維持の方向を考えるということだろうと思います。指定管理でしょうか。</p> <p>他の施設に関してはいかがでしょうか。何かございますでしょうか。バス用の車庫ですとか。</p> <p>こういうのはこれだけ取り上げてどうしますかっていうわけにはちょっといかないところがあって、その事業全体の中で位置づけてもらわないといけないと思います。ここでこうなさい、ああなさい、あるいはここで維持しなさいという結論を出すっていうのも難しいような気がするんですけど、いかがでしょうか。</p> <p>市民バスの車庫についても、これだけじゃなくて、ひょっとしたら学校の統廃合と合わせてスクールバスの話が出てきて、それも合わせて考えていかなければいけない事項になってくると思います。</p> <p>塩竈の話なんですけど、あそこは港町だけで農村は無いんですけど、小中学校はぜんぜん被害にあわなかったんです。みんな高台にあるんです。だから魚津みたいにこれから統廃合して、通にくいといった問題も含めてスクールバスを検討する必要があると思います。塩竈もそういう問題は、リスクはあったらいいんですけど、やはり総合的に災害とかを見越</p>
--	--	---



	<p>D委員 B委員 会長</p> <p>C委員</p> <p>D委員 C委員</p> <p>会長</p> <p>事務局 会長</p>	<p>してスクールバスで子供達は通っているみたいです。 それは先人の知恵で学校を高台にもっていったということですか。 そうです。 バス用車庫については、事業全体の中での必要性だとかを考えて、その中で維持あるいは施設の方向性を考えるという形で、提言できればいいかなと思いますので、そのあたりよろしくお願いします。 先ほどもご意見のありました、災害の関係で学校を高台につくるとか、それから災害に強い庁舎を造るであるとか、そういうところをそれなりにやはり改めて考えること、魚津市としてこれから新たに取組まないといけないことがたくさんありますので、そうすると今あるものをどこかに集約するなり見直すなりして行って考えていかないと、なかなか財政的に厳しいところがあると思いますので、その視点からも現在の施設の見直し、引き続きやっていきたいというふうに思います。 今日全体を通じて何かご意見、あるいは個別の論点でも結構ですけどもご質問等ございますでしょうか。ご意見よろしいでしょうか。 今回小学校の話が出てこなかったんですけど、各コミュニティの話はどうしても小学校に関連した話かなと思います。例えば、長野へ行くと、凄いい山奥に家があったり、例えば菅平なんか遊びに行ってもペンションの所有者なんかは子供を毎日小学校まで何kmもあるところを送っていて、コミュニティバスどころの話ではないです。そんなことを考えると、この魚津市はそんなに不便なところじゃないのではないかと思います。後10年、20年すると違った雰囲気になるのかなと思ったりもします。 この前言ったように、あくまで22年後どうなるのか、30年後どうなるのかを常に考えて施設の建設ということを考えていくべきなんだろうと思います。富山県の氷見なんか行くともっと分散しています。中学校でもいくつもあつたりします。いまだいぶん統合されたみたいですけど、氷見はいくつにも別れていて、山奥に小学校があつたりします。 移動が大変ですよ。 氷見は今、相当統合されたみたいですけど、魚津もいよいよそういう時期に変わってきていると思います。公民館だろうと今の消防の話だろうと、全てのそういったことが関連してくるわけだから、今現在どうだからというのではなくて、やはり常に20年後の先を見ながら物事を考えるということを、当然みんなそういうふうに考えておられるのはわかって言っているんですけど、しなきゃいけないんじゃないかなと思います。 ありがとうございます。今おっしゃっていただいたこと、これからもう2回ありますので、その際にも考えていきたいと、そういうふうに思います。実は今日はわりとやりやすい、と言ったらなんですけども、やりやすいものを選んでいただいて第1回目という事にさせていただきました。 次回、次々回はかなり悩ましいものも出てきますので、よろしく願います。 もし他にご意見ご質問ないようでしたら、これで本日の議事は全て終了いたしましたので、事務局の方から連絡事項等ございましたらお願いいたします。 (次回の日程について事務連絡) それではこれをもちまして、第8回委員会を終了いたします。今日はお忙しいところ本当にありがとうございました。</p>
16 : 45		(以上終了)